

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域とのつきあいは民生委員や町会を通じてイベントなどへの参加の呼びかけは行っているが、なかなか実現に結びつかない。利用者の介護度が上がり、外出しにくい状態の方が増え、こちらから積極的に出て行くことが難しくなっている。	大きなイベントだけではなく、ユニット単位で行うレクリエーションへも参加の呼びかけを行うなどし、地域とのつながりを構築していきたい。	道路へ出る部分のフェンスにポスターを掲示し呼びかけを行う。	6ヶ月
2	13	eラーニングを使用しているがオフラインでの研修となるとグループホームの性質上、職員の絶対数が少なく、日中帯の参加率が望めない。夜勤、夜勤明けを差し引き現場には3名の職員を配置せざるを得ないことから、参加者が数名になってしまうという現実がある。	毎月でなくとも出来る範囲でなるべく多人数の参加での研修を実施したい。	毎月行うユニット会議の参加率向上を第一目標とし、自然に研修が必要という認識を共有していく。	6ヶ月
3	36	排泄の声掛けを大声でしてしまったり、職員同士で利用者の話をやはり大声でしてしまったりと、必要以上の大声を出すことが習慣化しており、その都度注意していくが改善がみられない。	法人全体でユマニチュードを介護メソッドとして導入しており、特に接遇を重んじていることを職員に再度周知徹底させ、利用者一人ひとりを尊重する介護を目指していく。	実際に不適切な言動を見聞きした際には聞き流さず、職員同士でも注意し合う関係を築いていく。またそのことがレベルアップにつながることを丁寧に説明し職員の意識を変えていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。